



チェンジメイカー育成プログラム（第3期）

開催期間：2022年1月15日～3月17日

主催：立命館東京キャンパス

共催：ジャパンラーニング株式会社

チェンジメイカーとは…

=課題の本質を見極め、試行錯誤を繰り返して状況を変化させられる課題解決・変革型人材=

長崎県雲仙市の協力を得、東京での事前ワーク・セッションと現地でのフィールドワークを通して、地域の課題の発見と解決を行いながら、受講生一人ひとりが「チェンジ・メイカー」になることを目指す実践型の人材育成プログラム

【プログラム概要】

多様なバックグラウンドを有する受講生5名で1つのチームを組み、雲仙市側から示された複数のテーマから解決可能な課題を設定し、チームでリサーチ活動を行いながら解決策を提案します。

【プログラムの構成】

「スキル系科目(WEBオンデマンド)」「グループワーク(対面ORオンラインセッション)」「フィールドワーク」=合計約40時間程度のプログラム=

【プログラムの狙い】

本プログラムでは、PBLを通してこれからの社会に求められる「チェンジ・メイカー」へと成長することを目指します。具体的には、以下の3つの力を伸ばすことに注力します。

- ①限られた時間の中で自ら課題を抽出することで、自ら考え抜く力を育てます
- ②一連の活動をグループで行うことで、合意形成へ向けたコミュニケーション能力を育てます。
- ③現実に即した状況で解決策提案をゴールとし、やりきる経験を得ることで、実行力を育てます。

【PBLのテーマ】

テーマA：雲仙温泉の活性化について

テーマB：雲仙を食べるプロジェクト（竹田かたつむり農園を事例として）

テーマC：雲仙オリーブの未来（ナチュラルファーム社のブランディングと販路開拓）

海と山に囲まれた温泉と食の宝庫 「長崎県 雲仙市」

2大産業の農業と観光、素晴らしい魅力がある一方、プレーヤー不足、ノウハウ不足で生かし切れていない。

701年、奈良時代の開山以来、多くの信仰や旅人、湯治客を受け入れてきた雲の上の避暑地、雲仙温泉。

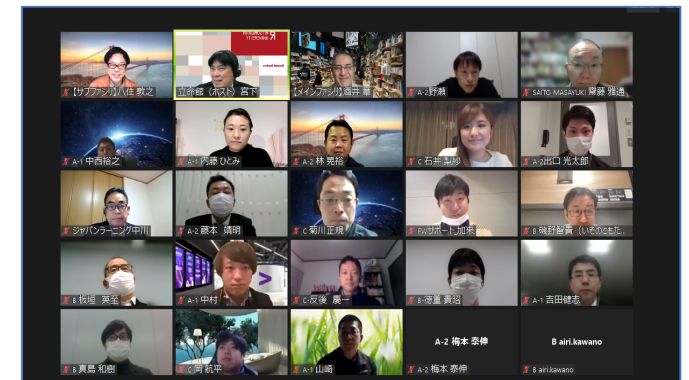
昭和9年には日本で最初の国立公園に指定されました。地球の鼓動のようにふつふつと湧き出る温泉、神秘的な山々、夜明けとともに聞こえる心地よい鳥の声。国内外を問わず、多くの人の生きる力をよみがえらせてきました。

一方で、人口減少に伴う地域活力の低下や、宿泊客の減少など多くの課題を抱えています。



【実施スケジュール】 *コロナ禍の影響で当初予定（10月開講）から大幅に変更となった

スケジュール	日程・時間	概要
セッション1	1/15 (土) 1300-1800	【キックオフ】①開講式 ②基礎講義 ③EQ結果解説 ④チームビルディング
セッション2	1/20 (木) 1900-2130	【課題理解と発見】①課題を深めるミニ講義 ②チーム活動 ③全体のシェア
セッション3	1/27 (木) 1900-2130	【課題設定と解決策検討】①課題を深めるミニ講義 ②チーム活動 ③全体のシェア
セッション4	2/4 (金) 1800-2030	【現地事業者の方を交えてのセッション】①グループワーク②全体のシェア
セッション5	2/10 (木) 1900-2130	【課題と概要の提出】①チーム混成セッション②チーム活動③全体シェア
特別セッション	2/18 (金) 1900-2130	【雲仙バーチャルツアー】①映像の視聴 ②感想シェア ③取材内容フィードバック
	2/19 (土) 1000-1200	【プレ発表にむけての提案概要確定】①チーム活動②全体シェア
セッション6	2/24 (木) 1900-2130	【プレ発表】①プレ・プレゼンテーション ②意見交換 ③チーム活動
セッション7	3/4 (木) 1900-2130	【検討と修正】①チーム進捗報告 ②チーム活動 ③全体シェア
セッション8 (雲仙訪問)	3/11 (金) 1400-1700	【雲仙訪問 (午後)】①ナチュラルファーム②竹田かたつむり農園 (小浜温泉泊)
	3/12 (土) 1300-1600	【雲仙訪問 (午前)】雲仙地獄 他 見学
		【成果報告会 (午後)】①チームによるプレゼンテーション ②講評 ③感想シェア
		雲仙ベースにて開催 *雲仙へ行けない受講生はZOOM接続 (雲仙温泉泊) 3/13は自由行動 午後：雲仙温泉地区→JR諫早駅
ポスト セッション	3/17 (木) 1900-2130	【リフレクション】①事業者の方々との対話②チームでのリフレクション



【成果（各チームの提案）】

- A:人、歴史、文化に焦点をあてたストーリーブランディングで観光客への差別化（観光PR動画の作成）
- A:祈りの大地『島原・雲仙100kmウォーク』（雲仙温泉を拠点に島原半島の様々な名所を巡るツアー）
- B:竹田かたつむりロードマップ（観光局との連携・企業対象農業体験・特別支援学校への授業と雇用創出）
- C:オリーブを通して雲仙全体を幸せに 夢をカタチにUZEN OLIVE LAND（UOL）計画

- コロナ禍での実施。感染予防対策を取りつつ「対面と遠隔（ZOOM）」のハイブリッドでの開催
- 各セッション終了後「リフレクションシート」の記入とアドバイザーとチームメンバーからのフィードバック
- 「フィールドワーク」を中止し、代替の「特別セッション」ではYouTubeチャンネルを活用した「雲仙バーチャルツアー」を開催（長崎雲仙の物産とともに）
- プログラム後半では各チームからの発表に続いて他チーム受講生やアドバイザーからフィードバックをもらう形式を中心として成果報告会へ向けた準備を実施
- 雲仙訪問を「まん延防止措置」解除後の3/11.12で実施 各事業者の有機農園やオリーブ園を訪問・見学
- 成果報告会は「雲仙BASE」で雲仙市観光物産課をはじめ現地事業者の方々20名を招いてハイブリッド開催
- 希望者には、プレ/ポストでキャリアカウンセリングを実施
- プログラムを補完する知識を習得することを目的に、ジャパンラーニング株式会社のWebコンテンツ（講義動画）と立命館大学のWeb講義（観光系科目）を受講・視聴

雲仙 x ***

湯せんべい x ASMR



世代を超えて雲仙を訪れる♪
オリーブリーのオーナー制度に対する提案

【オリーブを記念樹に！】



家族と共に成長する



タイムカプセルを埋めたり・・・

20年前の手紙が届いたり・・・



時を形に・・・

ルート概要：原城ルート



【受講者からのコメント】

- ・地方との交流は気づきと学びが多く、成長につながる素晴らしいプログラムでした。
- ・コロナで対面セッションが少なくなってしまったのが残念でしたが、講師の方々の工夫と熱意が伝わってきて思い出に残る学びの機会となりました。
- ・年齢や経験、背景が異なるメンバーでチームをつくることの難しさと楽しさを感じました。
- ・観光や地域開発、産業振興など重要なテーマを具体的に学べてよかった。

【現地事業者からのコメント】

- ・YouTubeを通じて日常でいかに雲仙の魅力を伝えられるかが大事だと気づかせていただいた。(A-1)
- ・雲仙を起点に島原半島各地へといった要旨がそもそもの今後の雲仙のあり方に合致しており、コース例まで提示してあり具体的で良かった。(A-2)
- ・体験メニューの充実は以前からの課題だったので、改めて気付かされました。観光と農業と福祉など他分野との連携のご提案ありがとうございました。(B)
- ・オリーブを美容で健康に結びつけるなど、農業と観光、健康の連携による地域のブランディングへの大きな可能性を提案いただきました。(C)

1. 「大都市圏」と「地方」との経験交流・人材交流

地方の現状、企業や地域の課題を知る・視野を広げる
ライフキャリアデザイン、働き方、生き方の転換を考える機会に

2. 脱・予定調和のPBL (Project-Based Learning) 課題解決型学習

背景の異なる受講者が「安心・安全な場」で真剣に議論する、自分事として「課題の現場」で課題を見つけて実現可能な解決策をチームで提案

3. 自分自身の成長・変化を可視化する

プログラムの“プレとポスト”でアセスメントテスト (EQ)を実施

【運営体制】

統括コーディネーターに立命館大学経営学部 齋藤雅通教授、レクチャー&アドバイザーには石崎 祥之教授、プロのファシリテーター2名によるセッション運営、雲仙側にフィールドワークコーディネーターを配置。社会人教育に精通したジャパンラーニング株式会社と連携
受講料148000円 (20名)

